

22109	解剖生理学Ⅱ a、b Anatomical Physiology II		3年次～ 前期 2単位		
担当者	鯨井 隆	履修可能学科	F必		
		関連資格	管理・食衛(F)		
サブタイトル	人体の構造と機能の異常と疾病の成り立ち				
授業内容 ・ ねらい	<p>解剖生理学-Iの学習内容の復習とともに、臨床実習に向けた病態生理の理解を目的とした授業内容となる。これには、人体の構造と機能の基本を理解した上で、それらの異常が疾病の発症にどのようにかわりあっているかを理解して行く狙いがある。つまり、解剖生理と病態生理の2面から学習する内容である。また、臨床実習で特に重要となる主要な疾病の予防と治療にも役立てられるような内容にして行く。理解を深めるためにワークシート・課題演習も盛り込み、記憶に残り易くなるよう工夫した授業を目指す。</p>				
授業計画	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> 1. 疾病診断の概要 2. 疾患治療の概要 3. 疾患による細胞・組織の変化 4. 栄養と代謝 5. 消化器系 6. 循環器系 7. 腎臓・尿路系 8. 内分泌系 </td> <td style="vertical-align: top;"> 9. 神経・精神系 10. 呼吸器系 11. 血液・造血器・リンパ系 12. 運動器（筋骨格）系 13. 感染 14. 免疫と生体防御 15. 悪性腫瘍 上記の一部には、ペアにした一括講義もある。 </td> </tr> </table>			1. 疾病診断の概要 2. 疾患治療の概要 3. 疾患による細胞・組織の変化 4. 栄養と代謝 5. 消化器系 6. 循環器系 7. 腎臓・尿路系 8. 内分泌系	9. 神経・精神系 10. 呼吸器系 11. 血液・造血器・リンパ系 12. 運動器（筋骨格）系 13. 感染 14. 免疫と生体防御 15. 悪性腫瘍 上記の一部には、ペアにした一括講義もある。
1. 疾病診断の概要 2. 疾患治療の概要 3. 疾患による細胞・組織の変化 4. 栄養と代謝 5. 消化器系 6. 循環器系 7. 腎臓・尿路系 8. 内分泌系	9. 神経・精神系 10. 呼吸器系 11. 血液・造血器・リンパ系 12. 運動器（筋骨格）系 13. 感染 14. 免疫と生体防御 15. 悪性腫瘍 上記の一部には、ペアにした一括講義もある。				
教科書 参考書	教) 『人体の構造と機能および疾病の成り立ち 疾病の成因・病態・診断・治療』（医歯薬出版） 参) 『OX 問題でマスター 解剖生理』（医歯薬出版）				
評価方法	小テスト（毎回）、出席状況、授業態度				
事前準備学習 履修条件等	教科書と解剖生理学の本（2年次の教科書）は常に持参する事が望ましい。いずれも、しっかり予習復習して真剣に取り組むようにしましょう。				